

令和7年度「シラバス」 教科：工業 科目：工業技術基礎

単位数	3	学科（型） 学年	電気システム科 1 年	教科書 副教材等	工業技術基礎（実教出版） 自作教材 ・ テスターキット（三和）
学習目標		1 協調的精神を持ち互いに協力し、周到な準備と研究的な態度で終始し、学習の目的を十分に達成するよう心がける。 2 工業技術基礎の学習をととして、工業に関する広い視野を養い、興味・関心を高める。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1 ・ 2 ・ 3	機械計測実習			・ ノギス・の取り扱いと操作の基本を学ぶ。 ・ マイクロメータの取り扱いと操作の基本を学ぶ。	
	テストの製作			・ ハンダ付け作業を習得する。 ・ 電気計測の基礎を習得する。	
	電気計測実習			・ 電源装置、可変抵抗について理解する。	
	コンピューター実習			・ コンピューターの基本であるタイピングや表計算、ワープロ、プレゼン等を学習する。	
	電気工事实習			・ 配線図の読み方、書き方を習得する。 ・ 電線の加工や接続する技術を習得する。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・ 工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。			
思考・判断・表現		・ 工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。			
主体的に学習に取り組む態度		・ 工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。			
評価方法	中間・期末考査は実施せず、作品や報告書の提出期限等を総合的に判断し評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 実習は危険な作業を伴うこともあるので、服装や態度には注意を払うこと。 ○ 進んで授業に取り組み、分からないところはその日のうちに解決すること。 ○ 積極的に活動し、技術を体得すること。					